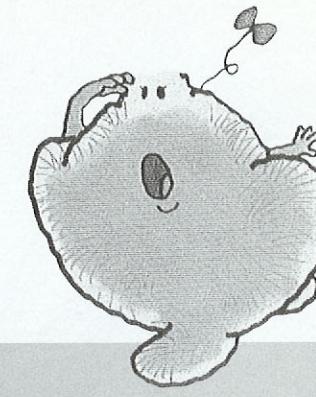


のんびり、ゆったり。
大自然の中で解放感
を満喫



(渡辺 純子さん
熊本市鶴羽田町)

鮮やかな緑の敷地と濃いグレーの屋根で統一された建物とがマッチしたカントリーパーク。農業の情報発信基地である公園は、落ち着いた雰囲気が漂っています。

中央ゲートを抜けるとそこには「ニュートンのりんごの木」の子孫の木が植えられています。さらに進むと青い芝生に覆われた三面の広場（わくわく広場・のびのび広場・ゆうゆう広場）に出ます。裸足で歩きたくなるような芝生の広場の中は、お弁当を食べたり、走り回ったり、寝転んだりと、自由に使うことができます。また、奥のバラ園の横には、サイロをイメージして建てられたシンボルタワーがあり、虫捕りやどんぐり拾い、散歩などに最適です。子どもたちは、小川や丘や広っぽで自分の頭を使って遊ぶことを覚えるでしょう。

カントリーパークでは、遊びながら



回廊で結ばれたパティオ型広場



ふれあい牧場にて

自然の仕組や農業について学べるほか植木市、物産展、講演会等のイベントによって、ふるさとの農業について新しい情報を得ることができます。

人は豊かな自然の中では、忙しい日常から開放されゆったりした気分になります。広っぽで大きく伸びをして、大きなあくびをしたら、明日も元気!! 間違いないです。カントリーパークは元気を取り戻す空間なのです。

行事予定

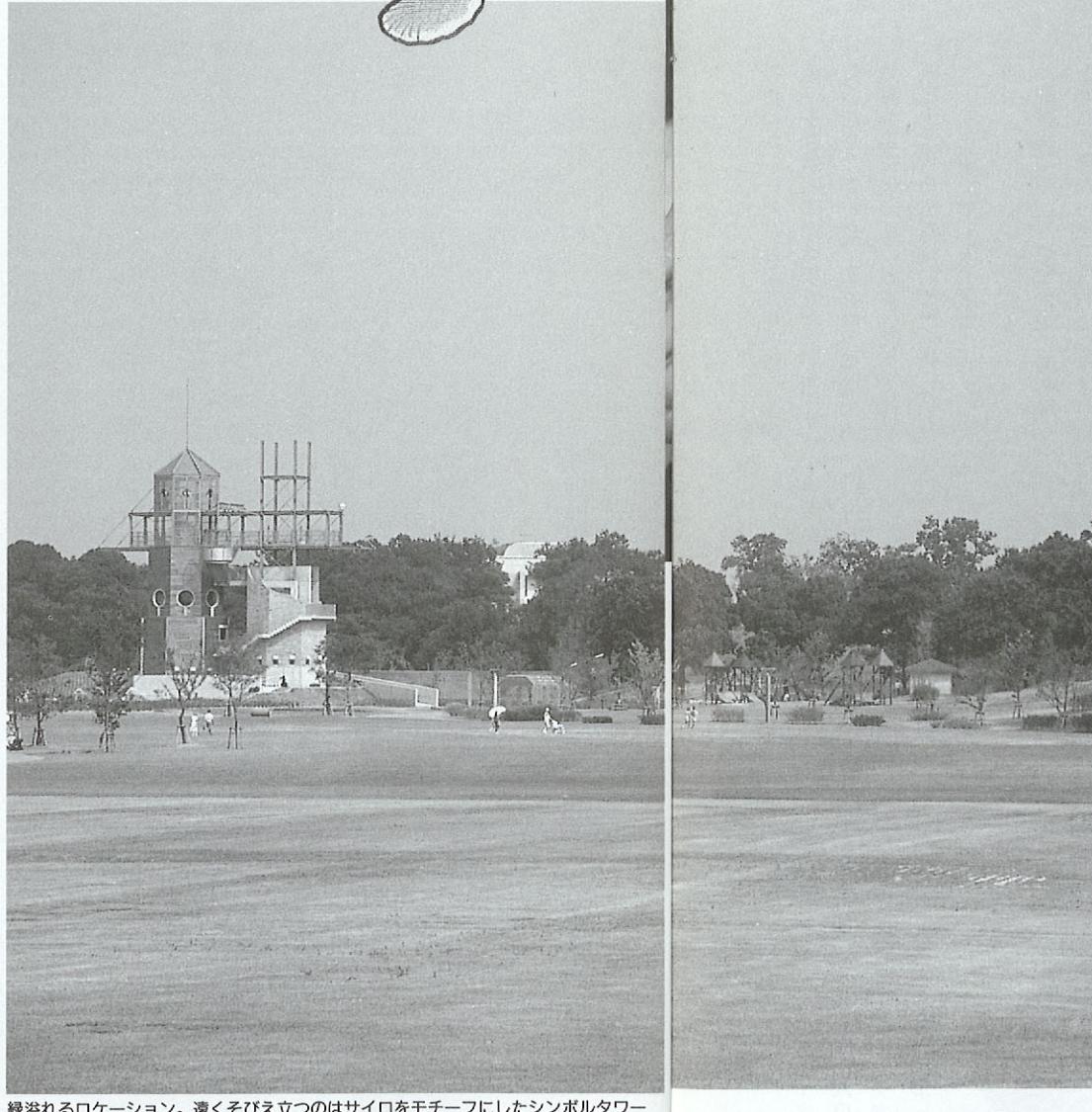
10月12日土～13日日
畜産まつり
11月10日日～11日月
スパレク ターゲットバード
ゴルフ大会

**農業を見て、食べて知る楽し
みに溢れるアグリパ
リオൺ**

竹下 美也子さん
(球磨郡多良木町)

「私たちが一日に食べるお米の値段はいくらくらいか知っていますか」と、農家の友人の問い合わせ。「うーん、分からない」と、私は。「コーヒー一杯分と同じくらいなんですよ」。「えっ」。この時私は、自分の農業に対する認識の浅さに驚いてしまいました。

ふだん何気なく口にする農作物について、私たちはどれくらい知っているのでしょうか。アグリパリオൺ(農業館)では、単一の食料しかないパル星のパルパル星人を登場させストーリーを開拓。おいしい食料を求め宇宙船で地球にやって来るパルパル星人の姿を通して、農業を、特に熊本

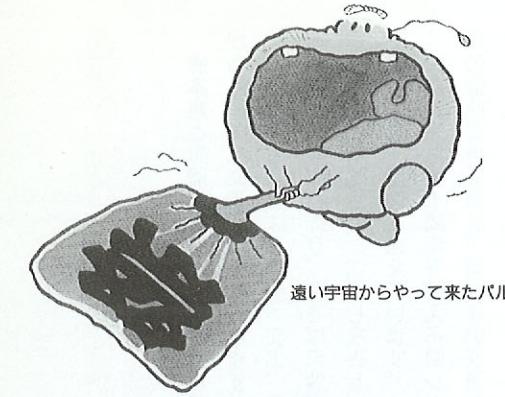


緑溢れるロケーション。遠くそびえ立つのはサイロをモチーフにしたシンボルタワー



色とりどりのベゴニアの花の咲くグリーンハウス

の農産物について分かりやすく、楽しく学ぶことが出来ます。パルパル星人を乗せた宇宙船ノーチラス号の操縦室となる展示室1では、地球における農業の始まりから現在行われている農業までを、センサー対応の画面の中で紹介しています。次に、三面マルチビジョンに熊本の四季と農業に関する催事とを映す展示室2。さらに展示室3では、県内各地の多彩な特産物が見られるほか、農業をクイズで学ぶ展示室4、バイオテクノロジーによる野菜栽培を解説した展示室5など、普段見ることのできない農業の様々な分野との出会いが生まれます。また、ベゴニアの花の咲き乱れるグリーンハウスで「休みするもよし。パリオൺから続く、県内各地の農産加工品を展示販売しているファーマーズマーケットでのショッピングもよし。自分で、耳で、体全体で、グッと身近になつた熊本の農業を味わうことの出来る公園です。



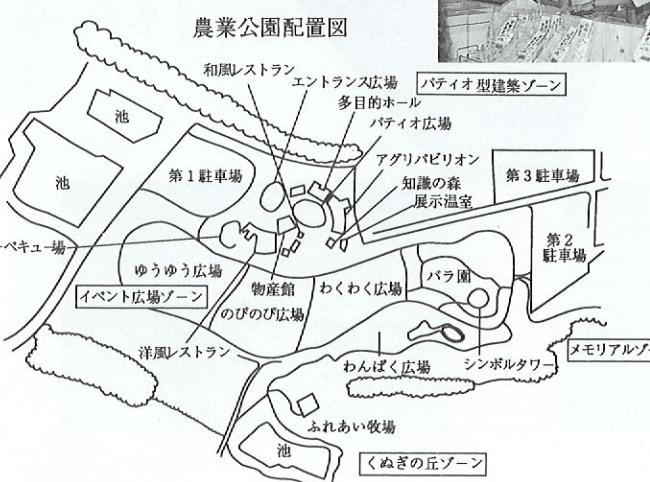
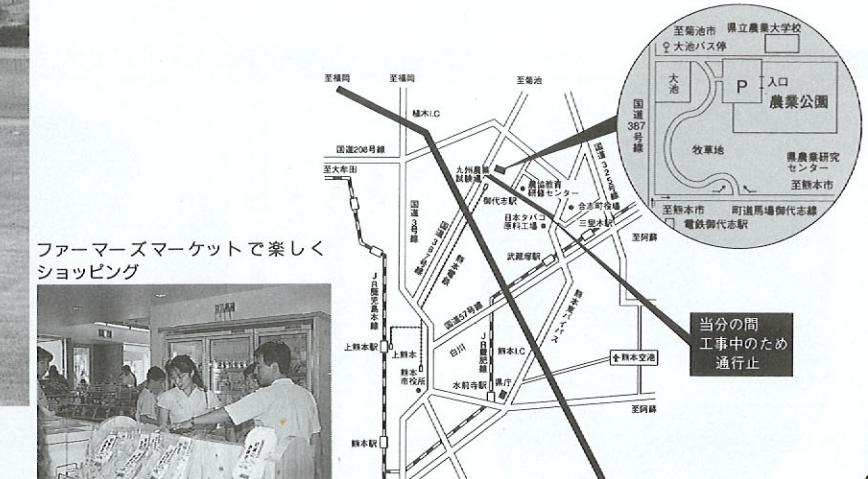
遠い宇宙からやって来たパルパル星人

田園牧歌的な大自然に拡がる 農業の情報発信基地 農業公園「カントリーパーク」

菊池郡合志町と西合志町にまたがる約36ha、東京ドームの5倍の広大な面積に広がる熊本県農業公園「カントリーパーク」。県立農業大学や県農業研究センターに隣接した農業的一大情報発信基地です。農業情報を満載した「パティオ型建築ゾーン」、シンボルタワーを中心に広がる自然が魅力の

「メモリアルゾーン」、動物に親しむ「くぬぎの丘ゾーン」「イベント広場ゾーン」に分けられ、身近に、楽しみながら農業や自然に触れ、親しむ空間になっています。

今回は、8月22日にオープンした農業公園「カントリーパーク」に早速出かけました。



開園時間
午前9:30～午後6:00(3月～11月)
午前9:30～午後5:00(12月～2月)

休園日
毎週火曜日(祝日に当たるときは翌日)
12月2日～1月4日
駐車場完備

入園料

	3月から11月	12月から2月
大人・高校生	300円	100円
小・中学生	100円	50円
大人・高校生	240円	80円
小・中学生	80円	40円

COUNTRY PARK
熊本県農業公園